

第1回 令和元年度大規模盛土造成地防災対策検討会 議事概要

日時：令和元年6月6日（木）10：00～12：00

場所：中央合同庁舎3号館6階都市局議室

1. 開 会

- ・都市局長より、開会の挨拶があった。
- ・事務局より、出席者紹介及び会議の公開の扱いについて説明があった。
- ・委員長より、挨拶があった。

2. 議 事

（1）大規模盛土造成地防災対策検討の趣旨及び経緯について

- ・事務局より、資料2「大規模盛土造成地防災対策検討の趣旨及び経緯」に基づき説明があった。
- ・これに対し、委員より、造成宅地防災区域制度を被災宅地の復旧に活用すること等について質問があり、事務局より回答があった。

（2）大地震による宅地被害での大規模盛土造成地滑動崩落防止事業の活用

① 東日本大震災における事例（仙台市）

- ・仙台市より、資料3-1「東日本大震災による宅地被害と復旧」に基づき説明があった。
- ・これに対し、委員より、1978年の宮城県沖地震で被害をうけた地区と東日本大震災で被害を受けた地区の関係や宅地所有者の費用負担等について質問があり、仙台市より回答があった。

② 熊本地震における事例（熊本市）

- ・熊本市より、資料3-2「熊本地震による宅地被害と復興」に基づき説明があった。
- ・これに対し、委員より、滑動崩落防止対策施設に関する保全条例や国の制度で小規模事業の要件拡充を適用できる地域等について質問があり、熊本市及び事務局より回答があった。

③ 北海道胆振東部地震における事例（札幌市）

- ・札幌市より、資料3-3「北海道胆振東部地震被害からの復旧」に基づき説明があった。
- ・これに対し、委員より、市が作成した盛土造成地マップと被災箇所との関係や盛土造成地マップ作成にあたり旧地形を確認する方法等について質問があり、札幌市及び事務局より回答があった。
- ・また、宅地造成等規制法では勧告等を受けた宅地所有者等が対策工事を行うこととされているが実際には地方公共団体が事業を行っていること、被災した宅地に対しては地方公共団体が手厚く復旧工事を行っていること、事業を進めるには道路管理者の協力が必要なこと等について発言があった。

（3）その他

- ・事務局より、資料4「今後のスケジュール（案）」に基づき説明があった。

3. 閉 会

（以上）